

科学用語から学ぶ日本語

内陸型地震

内陸型地震は、海ではなく陸地の下で起こる地震です。地下には「活断層」と呼ばれる、過去に何度も動いたことがある岩の割れ目があります。この活断層がずれ動くことで、内陸型地震が発生します。震源が浅い場合が多いため、地震の規模がそれほど大きくなくても、地表では強い揺れになることがあります。1995年に起きた阪神・淡路大震災も、この内陸型地震の一つです。海の下で起こる地震に比べて、内陸型地震は都市の近くで発生しやすく、建物やライフラインに大きな被害を与える危険があるため、注意が必要です。